

広報 水巻町

11月10日

第464号

毎月10日・25日
福同県遠賀郡
水巻町発行

水巻町制施行40周年



お祝いの秋田大黒舞を舞う吉田三民謡教室の方々

制年典

町40周式

雲一つない秋空の晴れたった十一月一日、頌末小学校講堂で、町制四十周年記念式典が行われました。

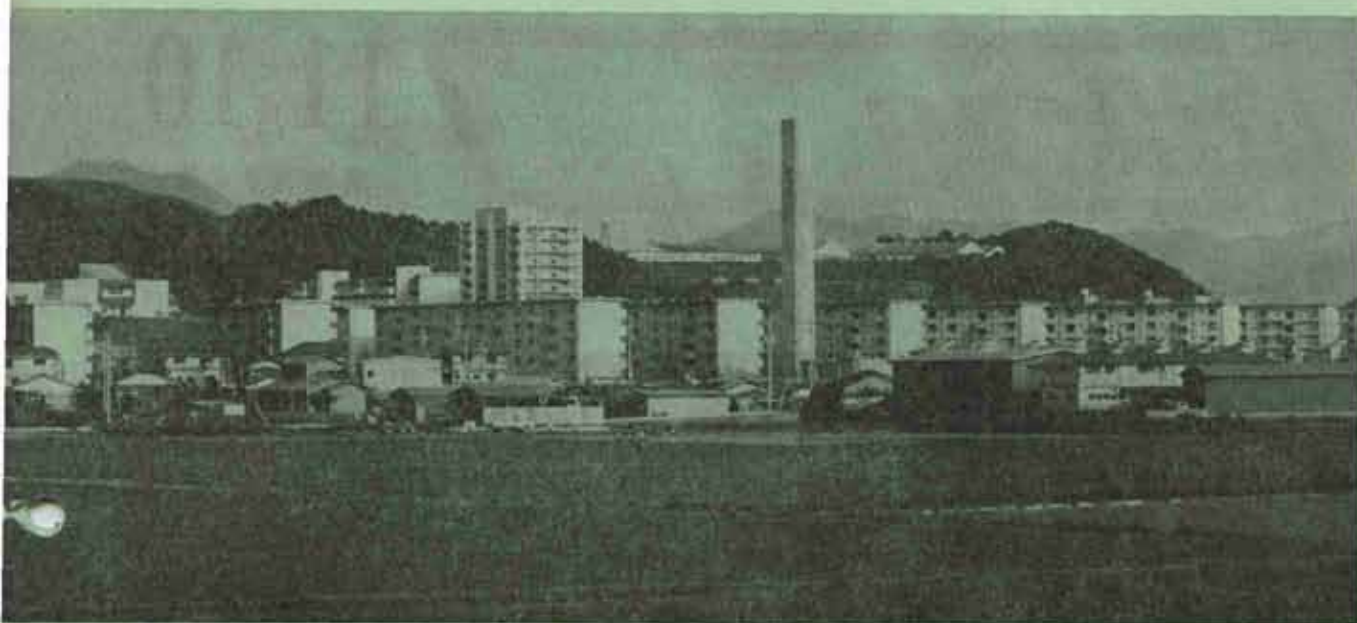
早いもので、町制が昭和十五年二月十一日に施行されて、今年で丁度四十年。会場には区長さんなど町発展に尽力をつくされた方々百五十名程が集まり、記念式典など行い、町制四十周年を共々に祝いました。

あいさつに立った伊藤町長から「町制四十周年を契機に議会と共々、人間尊重を基本原則とした都市実現のため、今後とも全力を傾注していきます」と祝辞がありました。

また、三原代議士、谷北九州市長などから、町民の英知とご努力ですばらしい、郷土水巻を築きあげて欲しい、今北九州市と水巻は一体です。共に長期的ビジョンに向ってガンバリましょう、等々の祝辞が送られました。

そして、今日まで町発展に寄与されてきた方々に感謝状が送られその労をねぎらいました。

町の今日までの歩みを2ページ以下に載せていますのでご覧下さい。



通賢川堤防から橋木・高松団地を望む



伊藤 町長

水巻町は、昭和15年2月11日に町制を施行し、今年で四十周年を迎えました。

この四十年間をふり返ってみますと、いろいろなことが思い起こされます。

特に本町の都市形成を大きく変えたのはエネルギー革命でありましたが、本町人口の約8割が石炭産業になんらかの形で関係する住民で占めていた時期があったことを思えば隔世の感を禁じ得ません。昭和四十六年三月日本炭鉱が全面閉山した後、新しい都市像を求めてマスタープランを作成し、以て来今日までこれを取組んでまいりました。

石炭の町から脱皮するため、特に緊急にして重要な課題として、住宅整備、学校教育施設の整備、飲害復旧事業、道路橋梁河川の整備等、大型投資を必要とする諸事業が山積していましたが、御陰でその大方を達成し今日を迎えることが出来ました。

今思えば感無量ではありますが、これも一重に皆様方の温かい御支援と御協力の賜と深く感謝している次第であります。

本町がめざしている「生活優先」「人間尊重」を基本原則とした都

市実現のためには、まだまだ多くの問題が山積しています。

すなわち、庁舎改築、体育館、中央公民館等文化施設の充実、上下水道施設の整備、コミュニティ確立のための諸施策、産業振興施策等、「石炭の町から脱皮」という緊急課題解決のため遅れている諸問題であります。

本町がエネルギー革命によりうけた影響は、極めて深刻でありこれらの諸問題解決のためには、財政的な問題等多岐な面もありますが、住民のニーズに応えるため町制施行四十周年を契機として議会ともども全力を傾注したいと覚悟を新たにしている次第であります。

皆様には、今後とも多大な御迷惑をおかけすること存じますがどうぞ、旧に倣して御支援、御協力を賜りますようお願い致します。まして私の挨拶と致します。



高橋町議会議長

水巻町が町政を施行してここに四十周年を迎え町民の皆さんと共に心よりお喜びしたいと思います。

光陰矢の如しと申しますが去る昭和四十五年多様な行事の下に三十周年記念が実施されてここに十年の歳月が流れましたが、つい昨日のような感じが致します。しかしこの歳月が水巻町の苦難な道であっ

たし街造りの基礎をきずいた年月でもあったと思えます。昭和四十六年、町内唯一の企業でありました日本炭礦が閉山し多くの失業者を始め計り知れない爪跡を残しました。

しかし町は皆さんの御理解と御協力の下に先ず住宅環境整備として住宅改良事業に取組み昭和四十三年度より吉田団地を始め郷口団地、高松団地と改良が進み本年度を以て完了が予定されその数千戸に及んでおります。尚、小学校、中学校の新設改築が全面的に実施され教育環境も整備され、日本住宅公団による梅木団地の新設県営住宅の建設等町の様相を一変させるに至りました。

やがて迎えるでありましょう五十周年、町はこの向う十ヶ年いかなる無策を以て町民のニーズにお応えするか、まさに偽政者の真偽が問われるところでもあります。遅々として進まない飲害復旧の促進中央公民館及び庁舎の建設、ボタ山開発、道路及び交通網の整備、体育館の充実等石炭の事業が残されております。幸いにして過疎法の適用もきまり、更に産別法も将来問題を残すにしても単純延長の結論が出さうであります。財政的にはかなりきびしい実情でありますがこの早期実現に向って全力をつくす所存であります。

しかし本町の無策では荒削りの批判はまねがれません。住民の個々の立場に立ててきめ細かい配慮がより必要であつてその有機的結合が住みよい街造りの基本であると信じ町民皆さんの御協力をお願い申し上げ御挨拶と致します。



町制施行40周年記念表彰



記念表彰をうける消防関係者たち

町は町制四十周年を記念して、九月議会に表彰条例の臨時特例案件を附議して、二十八人の記念表彰を行いました。

この表彰は、日狭閉山後苦節十年を迎え、町の構造改善もひと区切りついたところ、苦難をともにしてもらった住民各位への感謝の気持ちをこめて、この日の表彰となりました。

表彰は次のかたがたです。
特別表彰

歴代町長 大貝五十三

- ・ 歴代議会議長
豊沢 中村芳房 栗川正雄
- ・ 森田保男 川添定雄 江藤一正
高橋次生
- ・ 最高年令者 大根キヌヨ
- ・ 最高令夫婦 大根貞人、キヌヨ
- ・ 一般表彰
- ・ 歴代議会副議長
原田富穂 石塚章
- ・ 議会議員
小柳重年 久保田勝馬 加納弘
吉田壽 占部裕子
- ・ 教育委員会委員

- ・ 武尾友敏 吉田サカエ
- ・ 固定資産評価審査委員
白石陽逸
- ・ 農業委員会委員
副田寿一
- ・ 消防団関係
川島弘 石塚定雄 中原敏夫
永沢信夫 山本正敏 森田正

歴代町長

- 初代 久野 俊次 S15・2 S21・10
- 2代 大貝五十三 S21・10 S30・4
- 3代 西尾 司 S30・5 S45・1
- 4代 伊藤 衛門 S45・2

歴代町議会議長

- ・ 大貝五十三 S21・10 S21・10
- ・ 豊沢 源 S21・11 S22・4
- 初代 中村 芳房 S22・5 S24・12
- 2代 石塚 定雄 S25・5 S26・4
- 3代 栗川 正雄 S26・5 S27・9
- 4代 西尾 司 S27・10 S30・4
- 5代 高橋 次生 S30・5 S34・4
- 6代 森田 保男 S34・5 S38・4
- 7代 栗川 正雄 S38・5 S42・4
- 8代 入江 誠 S42・5 S45・2
- 9代 栗川 正雄 S45・3 S46・4
- 10代 入江 誠 S46・5 S51・3
- 11代 山崎 重雄 S51・3 S51・10
- 12代 江藤 一正 S51・12 S54・4
- 13代 高橋 次生 S54・5

※初代とは地方自治法の開始から

町の沿革

「水巻」という地名で呼ばれるようになったのは、明治22年市町村制により吉田、上二下二、伊左座、立屋敷、須末、帆、古賀、猪熊の9ヶ村を合併して「水巻村」とした時から始まります。

その村名選定理由に「新村名水巻村と附するものは、その若此地方を水巻の庄(御牧の庄ともあり)と稱えしによる」とあり、史実による考証が払われていません。

水巻の庄、ある

いは御牧の庄については、いまだはっきりした文献に接しないが、他に水巻の語源を求むると、元和5年(1619年)黒田長政が、立屋敷の「水巻大明神」に参拝されたことが藩記に記録されています。いずれにしても今の立屋敷の堤防にある2本の老銀杏のある所が、小高い丘陵をなして「水巻村」と呼ばれていたことが裏証されます。

それは、太古からの遠賀川の流れが、河口に近づくにつれ、豊潤からの西北の季節風にさえぎられて、微妙な影響を受けつつ砂丘を形成し、入海の形が徐々に伸縮土によって埋められ、今日の遠賀平野をつくりあげたことは、この地帯に広がる貝塚や古墳の所在や海に関係の多い、地名を見てもわかります。したがって、永い地勢の變貌がある時は文字通り水の渦巻



立屋敷のイチョウの木

町教育委員会では、大いちょうが県の天然記念物に指定されたことを契機に由来標石板など設置し、水巻町の文化財を大切にしています。また、この度大いちょうの木の外さくもやり直しています。町民みんなで、水巻町の文化遺産を後世まで大切に残していきたいでしょう。

く、水巻の里であったことも容易に想像できます。

昭和15年の夏、立屋敷河畔の遺跡が発掘され、弥生式時代後期に既に我が國に稲作を伴う農耕集落があったことを証明づけました。また、(延喜式927年)に誌されている島門の渡は、太宰府への官道として馬3頭を有し、重要な駅館があったことを示しているが今直ちにその所在が何れであったかについての研究は未だ十分でない。しかし、奈良時代の典雅な大



弥生式土器

近世秀吉以来、幾度かの検地によって、水田の開発がなされ、耕地が広がるにつれて、今日の村落を形造る先祖の移住を遅えたことが古文獻、口碑等によってわかります。しかし本格的な農村としての姿は、堀川開通(1761)によって、豊富な灌漑用水の恩恵を受けるようになってからであろうこの開藩政による郡奉行、触、庄屋等幾度かの行政上の支配の變遷はあったが、明治維新の革政は郡役所が置かれ、大小区制のもとに保長、戸長の組織が敷かれ、やがて明治22年に9カ村が合併して今日の水巻村として出発を見たの



水巻町誌

官人の姿を遠賀川の河口に描き出すことは、水巻の古(いにしえ)を誇る歴史の一頁であります。中世以後、遠賀河口の支配者山鹿兵衛次秀通(山鹿)に城を構え、(1023年)中家の終末と共に滅亡し、その後藤生領里にかわると共に、古賀豊前岳に端城を築いたことは、天正15年(1586)の豊田秀吉の麻生次郎左衛門尉への書状でも明らかで、当時の水巻がこれらの支配者のもとにあったことを容易に想像させるものであります。

このようにして水巻は純農村として、しばらく牧歌的な水巻の農村としての存在をつづけたが、明治維新前後から豊富な石灰質の発掘によって、徐々に農産物の村から、鉱業生産を伴う村としての道を歩みはじめました。即ち手掘り薪炭代用の石灰が、日本の新興面として猪足と共に、漸次大資本の注入によって本格的に能率的に機械化され、近代化され、出炭量は年々上昇した。それは、ちやうど日本が農業経営圏から工業圏へ脱皮したにも似て、わが水巻も草深い農村から石灰産業界の領地として発展し、昭和15年(1940)2月11日町制を施行し水巻町が誕生したのであります。

そして、昭和35年(1960)の人口35000人をピークに石灰産業界の全盛時代を迎えました。それから、エネルギー革命により昭和49年の神日本炭鉱閉山を契機に当町は大きく変わってまいりました。

今は、北九州経済圏に隣接した特性を活かし、勤労者の文化住宅都市として大きく躍進しています。



坑内夫の石像

昭和49年	都市計画用途地域決定
50	住宅公団梅ノ木団地建設開始
51	都市計画道路決定
52	水巻南中学校新築移転、鯉口団地建設開始 県営住宅おかの台建設開始 猪熊グラウンド完成
54	町身障者福祉センター開設、一部事務組合 (7施設)を遠賀、中間広域行政事務組合に
55	吉田グラウンド完成、遠賀川河口堰完成

40年のあゆみ

年号	できごと
明治4年	廃藩置県 人口645人
7	杵小学校創立
8	立屋敷、上二、吉田小学校創立
18	上記3校を廃止し、下二尋常小学校設立
20	鹿児島本線開通
22	水巻村制施行
36	遠賀川大洪水(水巻一番浸水)
大正9年	国道開通
10	高松炭鉱開坑
13	遠賀川橋完成、水巻消防組結成
昭和3年	頃末分校設立
4	水巻郵便局開局(吉田)
6	立屋敷遺跡、名和洋一郎により発見
8	水巻村役場、頃末に新築され立屋敷から移転
9	日本炭鉱設立(三好鉱業を買収)
13	頃末郵便局開局
15	水巻町制施行、頃末小学校焼失
	都市計画区域決定
18	水巻農業会設立
19 ²⁴	役場焼失 3/14
22	水巻中学校創立
23	水巻町農業協同組合設立
24	自治体水巻警察署設置、水巻町公民館設置
25	役場庁舎新築、若松市営バス乗入
27	水巻町教育委員会発足 町立水巻高等学校開校、町営住宅建設開始
28	遠賀川洪水
29	遠賀信用金庫設立
30	猪熊小学校創立、町民会館落成
31	樋口郵便局開局
32	水巻南中学校創立
33	公民館結婚式発足(500組)
34	町立第一保育所開設
36	国鉄水巻駅開業、新国道3号線開通
37	母子寮開設、町水道事業開始
40	町立第二保育所開設
41	日炭第一鉱業所閉鎖、若松へ移動
43	吉田改良住宅建設開始
44	学習等供用施設、第三保育所開設
46	日本炭鉱閉山
47	マスタープラン決定
48	勤労青少年体育センター建設
49	老人憩の家建設、高松改良住宅建設開始 下二小学校を吉田、伊左座小学校に分離新設

人口 (国勢調査)

年度	世帯数	人口	年度	世帯数	人口
大正9年	不明	7,636	昭和40年	7,567	30,935
14	◇	5,800	45	7,305	26,977
昭和5年	◇	9,311	50	7,228	24,377
10	◇	12,214	51	7,263	24,414
15	5,336	24,740	52	7,526	25,209
20	4,223	20,492	53	7,805	25,772
25	6,550	31,386	54	8,109	26,508
30	6,502	32,245	55	8,426	27,143
35	7,628	34,927			

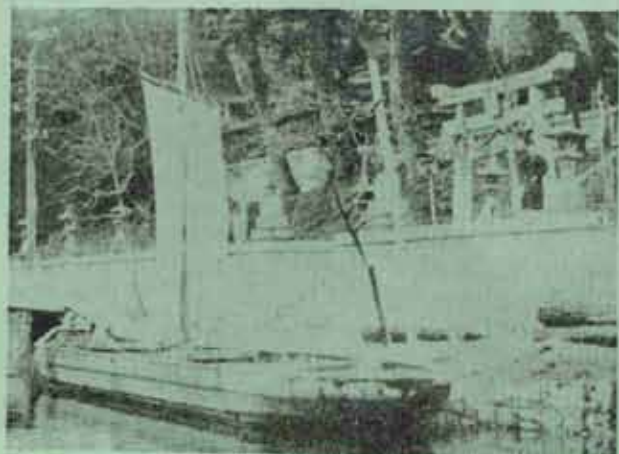
※ 51年～55年は住民基本台帳数

当初予算と一人当りの予算

年度	予 算 (千円)	一人当りの予算(円)
20	296	14
25	58,518	1,864
30	104,458	3,239
35	174,143	4,985
40	275,903	8,918
45	1,064,894	39,474
50	3,727,723	152,919
51	4,195,784	171,859
52	4,654,336	184,629
53	5,078,743	198,893
54	5,287,802	203,126
55	4,824,075	180,190

写真

～ 明治・大正・昭和初期 ～



大正時代の河守神社と川船～高い石段と堀川の運河が昔を偲ばせる



明治43年の立屋敷、左二階建が水巻村役場



昭和のはじめ頃、水車による揚水の風景



水踏み



水巻信用組合創立当時の倉庫と集荷状況

～ 昭和20年代 ～



吉田川端通り (吉隈橋から写す)



頃末国道筋 (右側手前が今の遠賀信用金庫)

思い出の



第1 鉱業所の煙突



遠賀信用金庫本店

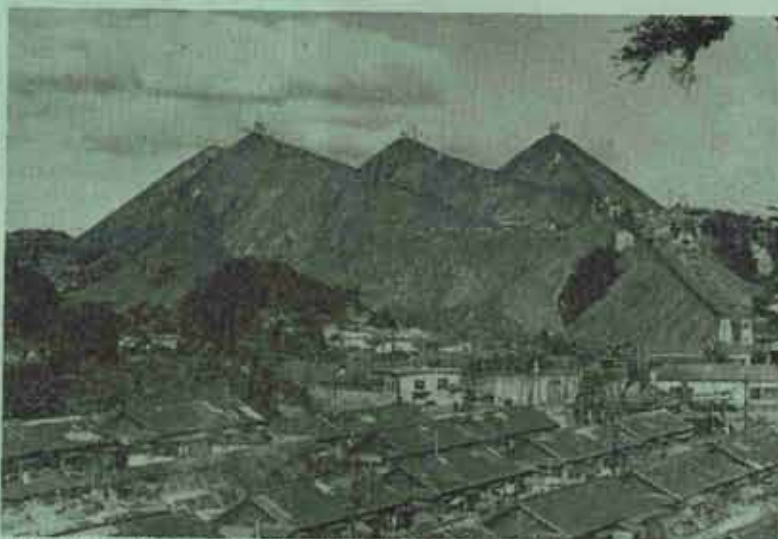


自治体水巻警察署

～ 昭和30年代～



日炭中央病院 (頃末)



ボタ山と宮ノ下社宅(中央高台あたりが今の水巻中学校)



水巻中央幼稚園から高松区炭住を望む



明神ヶ辻山から頃末を望む

文化の日

善行者、功労者など表彰

今年、町制四十周年の式典と合わせて、町行政に対する功労者、協力者など四十一名が表彰されました。

表彰者は次のかたがたです。

町長表彰

善行者

中川四吉、田中豊

永年勤続

山崎富士雄、松本大次郎、豊沢鶴児、山下高史、宮崎秋生、安田修治、藤本安男、安永安夫、

町政功労者

松崎為郎

永年勤続

田中綾子、白石カルミ、柿内博

社会教育功労者

羽田野勝美、富松静夫、下田真雄、熊野正思、真鍋敏美

学校教育協力者

浅沼政次、荒巻和明、出利葉博

徳島忠、真鍋敏美、吉田紀男、

吉野雅康、江藤喜美雄、荒田和子、隈井啓子



(社会福祉協議会の表彰をうける山本さん)

山賀康博、小田憲一、古岡秀人
安部判次
社会福祉協議会表彰
社会福祉特別功労者
山本憲昭、岡田次雄、藤井清子

見物人を魅了した展示会

菊のかがりがただよう秋空のものと十一月三日の「文化の日」を中心に恒例の文化の祭典が行われました。

会場となった町民会館には、各自慢の菊、生花、盆栽、水傷画、書などが展示されました。

今年は、特に町制四十周年のお祝いと重なって、会場となった町民会館には多種、多様な作品が沢山ならび、おとずれの人を魅了しました。

また、俳句、短歌の会では、句会を開き、日頃の練習の成果を披露し合い、会員の親睦を深めました。

句会の数句を紹介します。

矢野諭
社会福祉協働者
石塚啓二、船津マキエ、岡直剛
前田ジュカ

短歌会

大会賞 帆 吉田照子
白樺を映して響き高原の湖水の遠
ちは夕露の立つ

水巻町長賞 上三 山崎きよ
野はなべて穂をもつ草の祭りかや
やがての霜に素枯るるまでを

町議会議長賞 みずほ団地
古賀山ナツ
つぎつぎに寄る波しるき大島の漁
どる舟に揺るる秋の菊

教育委員会賞 帆 岩井ならえ
税金を納めりへたる燈りみち黄菊
の鉢植ひさびさに買ふ

毎日新聞社賞 吉田 浅井フミ
夕暮る垣根に句ふ木犀に道ゆく人
ら足とめて喚く

西日本新聞社賞 八幡西
柴田光昭
狂き廻りして木に渡す糸長し蜘蛛
の罫みに秋はきらめく

俳句会

特選
町長賞 立扇歌 清水やすみ
待つほどに無月の庭のうす朝り
(しずかに詠っている沈潜した句)
議長賞 みずほ団地 小園末子
老の愚痴聞いてやりつつ柿をむく
(人間味のある平明な句)

口開けて歯型とらるる秋灯下
頃末 渡辺照子
朝暈や車を駐めて二た三言
樋口 三好みつ子
あら縫ひの形見となりし秋拾
佳作

本選
下二 柳詰千賀子
穂り田の窓よりはなれろくろく観る
吉田 副田寿一
秋灯下ロシヤ滅ぶの単行本
長谷社宅 内田圭風

商工会長賞 新生街 山下晶石
鷗啼いて裏山の空抜けてをり
へ。空抜けてをり。が千金の裏山
の重みをなしている

教育長賞 中間市 長田礼二郎
磨き汁を月夜へ流し瀧溝区
(前向きに明日への生活を語って
いる)

教育長賞 中間市 長田礼二郎
磨き汁を月夜へ流し瀧溝区
(前向きに明日への生活を語って
いる)



樋口 野中孤生
 横天の星座組み終え露光る
 秋草に鞠あすけて句碑拜す
 新生街 平川紫峰

古賀 西島羽香華
 梨籠の仏蹟訪ね妻の秋
 野放しに積まるる塵車垣名残り
 頃末 宮崎とし子

高松団地 城久ゆき
 柚熟れて海山澄める彦岐の島
 吉田 白石禎輔
 草紅葉いつとはなしに旅のつれ

大人顔負けの作品がズラリ

第19回青少年競書大会

十月十九日、頃末小学校で小学生の競書大会が行われました。書を通して青少年の情操豊かな人間形成を深め、健全な育成を目的とし、今年も各地区から多数の生徒が参加しました。

審査の結果次の生徒が特選作に選ばれました。

- 小学1年 やまべ くにか
- 小学2年 さたの やすよ
- 小学3年 ふじさきしげる
- 小学4年 新徳 亜紀
- 小学5年 柴原亜希子
- 小学6年 国武 能成
- 中学1年 松井 律子
- 小学2年 国武 意智
- 小学3年 前根 邦子

審査長 泉美術協会正会員

松井 奇松

全体の作品が実力伯仲で、優秀をつけるのに苦労した。とくに特選の作品は目を見張るものがあった。地域書道のレベルの高さを知った。

今後のご発展を祈る。



タバコは町内で
 買いましょ

福岡県最低賃金改正

福岡県(地域)最低賃金が左記のとおり改正されました。

県内のすべての事業場では、11月8日からこの最低賃金以上の賃金を支払わなければならない。また、この最低賃金には、精習動手当、通勤手当及び家族手当は含まれません。

最低賃金額 1日 2720円
 1時間 341円

なお、産業別最低賃金(10産業)は、現在審議中で近く改正される予定です。
 くわしくは八幡労働基準監督署まで。

女子ソフトボール 同好会誕生

このたび、水巻町内で10月10日の体育の日を記念し、女子ソフトボールチームが吉田三チームを最初、頃末、上二、おかの台、伊左衛門校とつぎつぎに結成されました。他の地区も現在、会員集めに努力しています。愛好者が他にもたくさんおられると思います。参加ご希望の方は教育委員会(☎201-0403)までご連絡下さい。

又、各地区参加の水巻町女子ソフトボール同好会も結成されております。町としても社会教育の一

身体障害者相談員 制度をご存知ですか

身体障害者相談員は、身体に障害のある方の更生保護の相談に応じ、必要な指導を行なっています。身体に不自由な方及びその家族の方で、ご心配・ご相談がある場合は、お気軽にご相談下さい。

○精神障害者相談員
 小川深水一 高松団地20棟1-1 (☎202-2010)
 ○身体障害者相談員
 吉田敏治一 吉田身障者センター内(☎201-2098)
 内野末治一 樋口赤水(☎201-8070)

女子ソフトボール大会を11月16日吉田球場で、10時より開催します。多数のご声援をお願いします。



十一月になると寒くなり、暖房器具を使用する機会が多くなることや、「慣」からくる「つい、うっかり」といったことから火事に結びつきます。
 あなたの身の回りに危険がないか見直して、身近な火災危険をなくしましょう。
 たばこの吸殻は確実に後始末を小さな火を軽く見えていません。小さくてもたばこの温度は約七百度もあります。灰皿に水を入れて、確実に消す習慣を身につけましょう。

小包郵便料金の変更

10月1日から小包料金が次のとおり変わります。

普通小包	重量						
	1kg以下	2kg以下	3kg以下	4kg以下	5kg以下	6kg以下	
第1地帯	市内	400円	460円	520円	580円	640円	700円
	その他	500	580	660	740	820	900
第2地帯		650	730	810	890	970	1,050
第3地帯		800	880	960	1,040	1,120	1,200
普集小包	重量						
	250g以下	500g以下	1kg以下	1.5kg以下	2kg以下		
全国均一	200円	250円	300円	350円	400円		

長さ、幅及び厚さの合計が1mを超える郵便物 重量による料金に、その平額に相当する額を加えた額

昭和五十六年の

成人式の該当者を調査しています



(昨年の成人式から)

氏名の間違いや移動もれのかたは教育委員会まで

町教育委員会では来年1月15日に行われる成人式に該当する新成人の調査を行っています。

新成人に該当するのは、昭和35年4月2日から昭和36年4月1日までに生まれた方で、該当者を11月1日現在の選挙人名簿によって調査しています。これ以降の転入などで、名簿にのっていない人、または氏名の間違いのある人は、教育委員会事務局または居住地区の公民館長に申し出られますようお願いいたします。

代村美穂、末宗利雄、岡田浩、川上久美子、中川康代、川畑悦子、西村隆、末永英佐

吉田一

林田薫、野添知也、池水清治、中野信二、上坂元加津子、山上均、仲村由香里、川上敏子、大瀬美智代、中村美幸、新藤徳之、川内仁白石博仁、村上博之、佐々木恭子小副川浩子、清水康弘、福原さとみ、楠元由美、石山秀一、友原伸一、福沢きみ代、宮崎隆宏

吉田二

松崎政男、白石幸広、白石啓二、福山祐子、木村由紀、古賀英昭、小野利志香、梅川忠幸、皇前浩三、廣明、王恵美

吉田三

古川利一、関分蘭子、藤崎恵美子坂尾和弘、宮本久昭、永松正記、黒川光二、内村明美、城野一誠、橋本ゆみ、井上博幸、野崎真二、谷口誠、藤崎孝龍、塚本良正、坂尾登志治、土井本草浩、山賀裕司近藤夕子、広慶正子、藤本隆志、柿内一枝、文谷政子、安藤和義、坂本裕二、大坪妙子、渡辺智恵、安永淑恵、劉通子

美吉野

渡辺美治、安永浩子、宮久福輝、福田治郎、平戸敏子、真木英典、河内邦夫、大崎勲徳、奥和博、佐々木博、石江英実

鎌田園地

鶴留晋次郎、古市美穂、山永繁、平川詩子、岡田則行、丸山広高、瀧田幸枝、平林律子、有田久徳、田中正一、宮崎国男

須南北区

平城淳子、木原浩、坂井まゆみ、

平元里美、石松雅義、江野秀幸、鷺田千登勢、中尾みどり、安永浩一、佐藤直美、竹本佳代、渡辺澄男、前田和江、柿原浩信、小川博俊、岡香里美、米谷敏子、北川圭子、熊野純子、川井祐子、松村有希子、福山広毅、高橋恭二、行徳正彦、小林雅浩、砂川恵美、大場孝夫、砂川栄子、大城多子、住吉徳之、森田武司、渡辺彰子、橋口明美、須本美智江、中村真砂美、山浦立身、花田優子、吉原秀明、橋本房美、長崎昭、松本福一、高橋恭二、藤田義徳、坂田浩子、柿山賢次、工藤理晴、岡野美紀、松岡嗣子、花田昭二、岡本龍也、朝倉秀美、有田真澄、丁加代子

二社区

時津みちほ、幸所健治、講上勢一、脇田秀文、岩崎寿子

一区

渡辺保美、永松孝次、山本正和、古賀 川崎智子、吉谷淳治、日比生秀美、福山明広、白土理恵、村上文代、内海純子、泉美子、矢野信子、木原敏子

新生街

梅元久美子、野田幹枝、鈴木朋子

梅ノ木園地

小田敏子、原田誠子、橋本房美

古賀区

小池典子、内堀泰之、山口俊子、竹本幸子、友永成彦、尾崎さとみ、稲村園地、松岡敬、阿古祐美、服部信幸、幸村広実、高村俊彦、奥公子、小島義富、山崎薫

梅ノ木区

三輪啓一、池田幸仁、長崎敏郎、末川好子

立屋敷

倉原元、山根つや子、中村明子、田中豊彦、入江三治、入江公子、伊左衛

みずほ

日高信子、白石博昭、永沼和美、小林信子、下屋敷一人

みずほ

池崎美智子、小野浩美、今別府勝比呂、今別府由里子、宮本敏枝、中村大輔、植木貞幸、山田雪江、溝口真二、池追英恵、松丸正史、小川環、松尾彰、真角ルリ子、荒木まゆみ、川越進一、松野喜三、田中賢一、小野忠男、大田篤孝、中村慎二、岩下和子、柴田弘子、岩下淑子、片野坂浩子、片野坂恭子、木公毅志、石川孝二

上二

中村真二、河村直樹、船津正綱、

大野界

中村りか、原田芳彦、多田野みさを、小林幸子、勝原三吾、勝原智子、右田安子、中高雅敏、野津春幸、井原喜代、石田一美、高野清次、行正哲吾、渡田久美子、加島寛、村田孝人、山口直美、藤輪えり子、伊藤伸一郎、黒川敏明、横野浩之、森阳人

二町住

角和隆、竹内洋子、山口世津子、兵頭英雄、宮原節子、石川直子、白石真実

下二

盛田敏子、丸山香二、高田尚、三好祥子、清水紀子、豊共弘美、岩永浩利、森北昇、七瀬聖彦、山田理恵

下二町住

豊嶋ひさ子、行正直美、田坂英之

皆崎貴子

中村英子、宮本喜久恵、古海正治、林幸子、入江興産、後藤直幸、川部豊美、吉田園地、矢野田トミ子、具志恒浩、杉本博美、小原恵一、川崎盛男、中村マシミ、松本はつみ、山野のり子、伊勢島信行、秋山かすみ、伊勢律子、西山淳一、田上友広、佐々野邦明、佐々木浩二、永田恵一、森一寛、平山千代乃、福田康、郷内京子、坂本みね子、坂田道紀、栗田和幸、木下富士美、中林正樹、黒木龍二、野元浩一、小橋智子、竹口利香子、石松敦、川原幹治、津田美津子、藤村京子、末吉孝二、植松千代、平野政広、佐々木克枝、和田悦雄、平石富美、吉森和彦、

【高校部】
 山本留美、内藤芳美、荒牧智恵
 吉村弘美、原口和久、川原洋子、
 三浦信博、千秋勉、吉田こすえ、
 桑村千秋、吉岡修、池田健二、馬
 場伸二、山口順子、熊谷芳江、安
 永透、福村清恵、江頭美子、松本
 修一、長友幸江、山口孝信、山下
 孝祐、加藤光一、板垣司、山口雄
 祐、新屋昌子、山形秀明、橋本聖
 子、山崎悦子、小川さとみ

第1回中間・遠賀

少女バレーボール大会

第一回目的朝日新聞杯争奪戦が十月十八日、十九日の両日にわたって、中間市で行われました。初大会とあって、会場となった中間文化体育センターには、中間市五チーム、水巻町八チーム、岡垣町三チーム、芦屋町二チーム、それに招待の川崎町一チームの多数の参加チームとなり、盛大な大会となりました。

【伊左衛せんぶをまきお】した選手たち

吉野美津代、坂田清顕、小野昇一、浅地康弘、茨木豊子、金本結花、尹光典

第八回少女

バレーボール大会

十月二十六日、勤労青少年体育センターで、今年度最後の試合、教育長旗争奪少年団バレーボール大会が行われました。

各選手とも最後の学年の総決算としての大事な試合一ポイントごとに応援者から盛んな拍手が送られ、日頃の練習の成果を十分に示した悔のない試合が展開されました。

結果の方は、昨年に引き続き伊左衛チームが吉田チームを2対

浜崎健司、田口日出雄、今福雅明、江頭広志、岡部澄人、母里都久美、大員浩子、米満美恵子、吉田知二、角田静子、立石剛敏、小関千秋、鴻上直美、毛利真由美、西田久枝、川越信次、田中裕子、樋口律子、水野和幸、内田浩幸、渡辺夢子

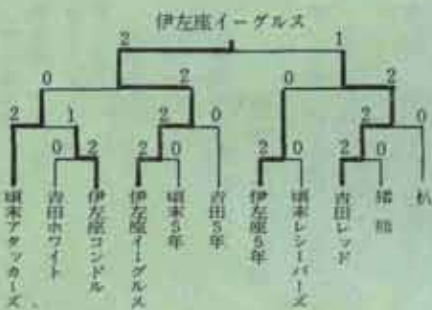
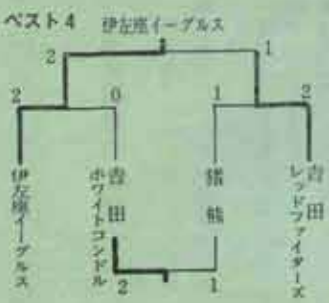
梅ノ木老人クラブ善戦

ゲートボール県大会

と練習次第では上位進出も射野内にある」と早くも来年に向けて闘志満々。

なお、この大会に地元は勿論、猪熊など多数の応援者がかけつけ終始熱心に声援を送って下さった友情には関係者一同感激しました。

猪熊町住 猪熊千代、奥野雅人、山崎良子、おかの香、神谷百合子、田野尻由美子

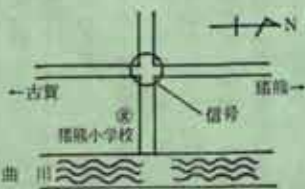


県下の郡市代表四十八チームが参加した第二回大会は、十月二日福岡市平和台競技場で開催されました。

郡代表として出場した梅ノ木チームは、一回戦八女チームを12対9でくだし、二回戦に進みましたが、粕屋郡に8対11で惜しくも敗れました。

公式大会に初出場の梅ノ木新川監督談によれば、「さすがに県大会だからいいチームばかり揃っていたが、ずばぬけて強いチームは思ったより少なかった。この分だ

ご注意を！ 猪熊西側信号



猪熊小学校西側の信号は、いままだ歩行者専用信号でしたが、通常(普通)信号にかわりましたので、お知らせします。

なお、この道路は通学路で小学生が多数横断していますので、特にご注意下さい。

お知らせ

胃ガン検診

この頃、胃がもたれる、吐き気がする。体重が減ってきた等々の自覚症状はありません。ガンは体中どこでもできますが男女とも一番多いのが胃ガンです40歳になったら、男女とも、年に1回、必ず集団検診を定期的に行いましょう。

地価調査の閲覧

県では、毎年七月に土地価格の調査を行い、基準地価格を算出しています。町では、この閲覧を次のとおり行っています。

ウグイスの捕獲許可

今までウグイスの捕獲許可は県知事が許可しておりましたが、今回の法律改正により環境庁長官が行うことになりました。なお、くわしいことは八幡農林事務所林務課(電話691・0343)まで問合せ下さい。

危険物取扱者試験

- 試験日 12月7日
試験地 北九州大学
願書受付先及び期間
県消防防災課 11月19日〜20日
北九州市消防局 11月25日〜26日

老人検診

- 日時 11月27日28日
10時〜11時
場所 帆山荘
対象者 65歳以上の方

- 準備講習会
講習日 11月28日
講習場所 連賀部消防本部
受講受付 11月10日〜27日
消防本部予防係(電話09329・3・1231)

社会通信教育地方

- 受講者 文部省認定社会通信教育受講者及び今後受講を希望する人
日時 11月30日 10時より
会場 赤坂公民館(福岡市中央公民館)赤坂21518番092・714・5521

心身障害者雇用のラジオ放送

- 申込み 当日10時まで
心身障害者の雇用促進を図るため、労働省企画のラジオ放送がされています。ご利用下さい。
毎週日曜日、ラジオたんぱ(7時45分)心身障害者雇用の広場(12月まで)

チャリテイ感謝バザール(商工会)

今年も恒例となっています。水産町商工会婦人部主催のチャリテイバザールが行われます。本年は、特に来年の「国際障害年」の協力参加もかねていますので、みなさんのご協力をお願いします。

- 日時 12月1日(月曜日)10時から
場所 町民会館

祝電は10日前から

毎日のビジネスや家事に忙しく知人、友人の結婚式、誕生日などに祝電を打つのをつい忘れてしまふことがあります。こんな時には、便利な配達日指定電報をご利用下さい。3日前までに打ちますと、150円割引になります。

公給領収証を受け取りましょう

料理店、バーなど飲食をしたり旅館などで宴会等をしたときにその料金に対し、一割の料理飲食等消費税が課税されます。また、すし屋、スナック等の飲食店、その他これに類する場所での一人一回の飲食料金が二千円を超えるときにも同じく料理飲食等消費税が課税されます。店では、飲食等の料金と一緒に納税相当額を預り、お客さんには納税した証拠として公給領収証を渡すことになっています。

〜お礼〜

香典返しとして次のかたから社会福祉協議会にご寄贈がありました。ご冥福をお祈りします。

- 口地 二地二
団地 団地二
松田 口田
高下 下田

遠賀郡農業祭

- 日時 11月23日
9時30分〜15時
場所 芦屋町町民会館と中央公園
即売コーナー 植木、苗木、農産物、農機具
子供コーナー 魚のつかみどり
可愛い動物園
演芸コーナー、吹奏楽、演芸

会カラオケ大会

チャリテイバザー、おにぎり、だんご汁、ぜんざい、おろし、きな粉餅コーナー。その他、まだ展示即売等も行いますので、多数の参加をお待ちします。